

## ロッキングスクリュー 製作方法

- 1 初めに内冠のクラウンを製作します。
- 2 スクリューが設置される外冠部分の厚みは最低2mmを確保してください。
- 3 外冠は内冠に対してパッシブフィットを達成してください。ロッキングスクリューは内冠の壁面に対して下方から上方に向かってやや傾斜するように設置してください。(図1)
- 4 内冠と外冠を分離した状態にします。
- 5 「センタードリル」を用いて外冠にセンタリングポイントを形成します。ロッキングスクリューの直径に対応する「ドリル」を選択し、形成されたセンタリングポイントを起点に注油とドリルを上下させながら、外冠に貫通するまでホール形成をします。
- 6 内冠と外冠を組み合ませます。
- 7 ロッキングスクリューの直径に対応した「センタードリル」を用いて内冠にディンプル(半球状の穴)を形成します。
- 8 再び内冠と外冠を分離します。
- 9 「タップホルダー」に「スクリュータップ」をセットし、外冠へのネジ切りを手動により行います。その際、ネジ切りは抵抗が指先に感じられるまで時計方向に回転させ(約2回転半)、その後逆回転、再度この操作をネジ切りが完了するまで繰り返します。

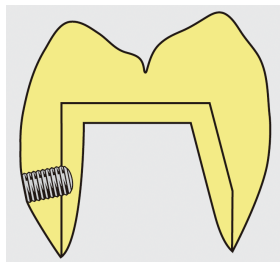


図1

### 《ラボサイドの注意点》

- ロッキングスクリューは補助的なアタッチメントです。主な維持力は内外冠で得られるようにしてください。
- 内冠は図1のように平行面が必要です。ロッキングスクリューは必ずその平行面に取り付けられなければなりません。
- アクセスホールは口腔内でスクリューにアクセスしやすい位置に設置してください。
- 技工物を納品する際には、ロッキングスクリューを外冠につけたまま納品してください。

### 《チェアーサイドの注意点》

- セットの際は、必ずオリジナルのスクリュードライバーを用いて適切な力で締め付けを行ってください。
- スクリュードライバーは誤飲を防ぐため必ずコードを手につけてください。また、患者の呼吸により吸い込まれないようにラバーダムを使用することをお勧めします。